

TOOMAS ILVES

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- President of Estonia 2006-2016
- Global Public Sector Digital Transformation Pioneer
- Chair of WEF's Global Futures Council on Blockchain Technology



Toomas Hendrik Ilvesは2006年から16年までエストニアの大統領を務めました。Ilvesは、将来多額の投資を行った先進的な政策を通じて、エストニアを最もデジタル先進国の1つにしたことで有名です。

エストニアはデジタルガバナンスのうらやましいモデルであり、投票、銀行業務、医療、交通機関、および教育において政府のEサービスを提供しています。大統領の就任中、イルベスはエストニアの学校のための「タイガーリープ」プログラムのようなイニシアチブを導入しました。

イルベスはエストニアの難民に生まれ、アメリカで育ちました。1984年にアメリカとカナダで仕事をした後、Radio Free Europeのアナリスト兼研究者として働き、やがてラジオのエストニアのデスクの責任者になりました。

1993年から96年まで、彼は米国、カナダ、そしてメキシコへのエストニアの大使を務めました。1996年にイルベスは、同氏が1998年まで、そして1999年から2002年までの間に行ったポストの外務大臣を務め始めた。

イルベスの政治的経歴は、2002年にリトイコグ、エストニア国会に選出され、2004年に欧州議会に選出され、2004年にエストニアが欧州連合に加盟することになった交渉を開始した。2006年に選出された社会民主党の候補者。

2007年のエストニア議会選挙は、投票の一部がインターネットによる遠隔電子投票の形で行われた世界初の全国投票でした。イルベスは自分のオフィスを利用して、エストニアをEUとNATOの両方にさらに統合し、アメリカとの関係を強化しました。2016年11月以来、イルベスは世界経済フォーラムによって設立されたワーキンググループであるブロックチェーンテクノロジーに関するグローバル未来協議会の共同議長を務め、インターネットのセキュリティを向上させるためのブロックチェーンテクノロジーの使用方法に焦点を当てています。

Topics

- Future
- Government
- Politics
- Technology